

○相原 心

現場見学会に参加して自分の将来なろうとしていることのイメージがつかまりました。僕も高校を卒業後には進学せずに就職する予定です。建設業に就職しようと思っているのでそのために今は資格の勉強に励んでいます。

最初にお世話になった大久保産業さんの名田橋の橋梁修繕工事は実際に工事中のところへ上がらせていただいて貴重な体験ができました。僕は幼いころ橋が好きだったので橋の裏側まで見ることができて興奮しました。

続いてお世話になった姫野組さんの耐震対策工事の見学を見学させていただいて最初の説明であった津波浸水地域のマップを見て、あれほどの範囲で何メートルもの浸水被害が出ると知って驚きました。また、先日行われた二級土木施工管理技士の資格試験でも出てきた工事の名称もたくさんあってそれを生で見られたのがよかったです。

次にお世話になった五洋建設さんと最後にお世話になった高田機工さんの新町川橋の施工を見学して機械や橋桁などすべてが大きくてとてもかっこよかったです。中でも五洋建設さんのクラムシェルでの作業を目の前でみられてとても感動してつい写真を撮ってしまいました。

今回は大久保建設さん、姫野組さん、五洋建設さん、高田機工さんにお世話になったということのでどの企業の方々も作業内容等熱心に説明してくださり、自分の中の理解も深まって前よりもっと建設業に就きたいという気持ちも強まって本当に良い経験ができたと思います。安全第一で作業を行って周辺住人にも気を使って自分たちの暮らしをよりよくしていただいていることに感謝の気持ちをもってこれからの日々を過ごしていきたいです。また自分が建設業に就いたときは、みんなに感謝される人間でありたいと思いました。この度はありがとうございました。

○阿部陽平

10月31日に、環境土木コースと建築コースで現場見学会に参加しました。徳島県内の現場を4つ見学しに行かせていただきました。

1つ目、名田橋に行きました。最初話を聞いていてもイメージがあまりつきませんでした。橋に登らせてもらって、話の内容や造り分かったので、良い経験をさせてもらいました。

2つ目は、松茂にある現場に行きました。授業で習った機械の名前が話の途中に出てきたけど、どんな状況で使うのか知らなかったので現場見学のおかげで、サンドコンパクションパイルが思っていたより大きな機械で、細かい作業していたことがわかりました。周りを見ても機械のスケールが大きすぎて圧倒されていました。

3つ目と4つ目は、津田と沖洲で造っている高速道路を見学しに行きました。津田で話を聞いた後、クラムシェルで水中掘削している現場を見て、1つ目と2つ目とは違う感じで圧倒されて現場に見とれていました。水中掘削の工事が思っている2倍大きかったので、テンションが上がり、土木の現場もいいなと思いました。2つ目の現場の時、3Kの話聞いていたのですが、土木も良い仕事になってきていると思いました。

沖洲では、津田の反対側から高速道路を造っていました。思っていたより高速道路の基礎ができていたのが驚きました。橋の高さが高かったなのでこの高さを人が造ったと思うと感激しました。

どの現場でも僕たち生活に欠かせないものを造っているのも土木には感謝しか生まれてきません。貴重なお時間をくださりありがとうございました。

○圓藤翔瑛

10月31日に僕たちは現場見学会を行いました。徳島市内の現場を4か所まわりました。

1つ目は名田橋の工事を行う大久保産業さんのところに見学に行きました。橋の裏側を登らせていただいたのですが、とても高くてこんな危険と隣り合わせの場所で毎日命がけの仕事をしていて人がいるから僕たちは毎日普通に生活ができているのだなと思いました。

2つ目は旧吉野川・今切川における地震・津波対策事業を行なう姫野組さんを見学させていただきました。僕たちが見たのはサンドコンパクションパイルという堤防の沈下を留める工事でした。災害に対する工事で耐震工事があるのは知っていたけど、津波などに対する工事を初めて見る事ができました。

3つ目は新町川橋下部を工事している五洋建設さんの所に行きました。今回はクラムシェルで水中掘削をしている様子を見学することができました。とても大規模な現場で今回の現場見学会で一番印象に残っているのがこの現場でした。水の中に穴が空いているイメージがすごく頭に残っています。

最後は高架橋上部の工事をしている高田機工さんの所に行きました。この現場には科技高の先輩も働いている所でとても親近感がわきました。

この現場見学会を終えて僕たちを普段から目の届かない場所で支えてくれている人たちの存在を改めて実感しました。その人たちのおかげで毎日安全に生活ができていることがわかり、とても凄いことだと思いました。貴重な経験ができてよかったです。大久保産業さん、姫野組さん、五洋建設さん、高田機工さん、このたびはこのような現場見学会を開いていただきありがとうございました。

○大田賢哉

現場見学会に参加してみて、あらためて思ったことは、どこの現場へ行ってもとても大きな現場で、見回ることがとても時間がかかり広い範囲で作業していることがわかりました。

二つ目は、現場の人全員が責任感のあり、とても分かりやすく現場の過程や建築物の構造などいろいろなことを細かく丁寧に教えてくれたことです。細かく丁寧に教えてくれると、僕たちも理解しやすく、将来の進路にとっても役に立ちます。また、最近変わってきた仕事の仕組みなど、建設現場が働きやすくなってきたことなども教えてくれとても勉強になりました。

三つ目は、とても驚いたことです。それは、現場でドローンを使っていたことです。話では聞いていたのですが、あんなに間近で見られるとは思っていませんでした。しかも、その現場で僕は人生で初めてドローンを見ました。思っていたより二倍は大きくて、音もとても静かでした。しかもカメラもついていてとてもかっこよかったです。操作している人の操作もとても適格で、自分の手足のように動かしていて、その姿はとてもかっこよかったです。ぼくも、ラジコンを動かしたことあるのですが、ドローンのようなミリ単位の操作は絶対にまねできません。あまりみんなができないようなことを身に着けているのは、本当にすごくてとても自慢になるので、ぼくもそんな人になれるように頑張りたいです。

今回現場見学会に参加してみて、ぼくはとても成長できたと思います。ほかの学校では体験でき

ないようなことを体験させていただいていることに感謝して、将来の仕事を選ぶ時の参考にさせていただきます。本当にこのような現場見学会を開いていただき本当にありがとうございました。また、機会があればぜひ、参加したいです。

○大屋皓汰

私は 10 月 31 日に 4 箇所の現場に行きました。このような現場見学会という機会を作って頂きありがとうございました。どこの現場も初めて行くところなのでとても楽しみでした。

最初に大久保産業さんが施工している名田橋の修繕工事を見学させていただきました。私は橋がどのような設計で出来ているのかをあまり知らなかったのが今回の見学でたくさんの橋のことを知りました。また、今回の名田橋の修理費が 1 億 3 千万と聞きとても驚きました。橋の横まで登る事が出来いい体験が出来ました。

2 つ目は姫野組さんが施工している豊久下流地区耐震対策工事を見学させていただきました。今は新 3K と言う給与、休暇、希望と言う新しい 3K を知り、より土木関係の会社に就職したいと思いました。姫野組さんでは、杭ナビという測量のアプリを使いらくに測量が出来ていてとても凄いなと思いました。私は測量系の仕事がしたいのでいい体験が出来ました。

3 つ目は五洋建設さんが施工している新町川橋下部工事の見学をさせていただきました。大きな重機が沢山あり圧倒されました。皆さんが一致団結して作業する姿を見てとてもカッコ良かったです。いい体験が出来ました。

4 つ目は高田機工さんが施工している沖洲高架橋上部工事の見学をさせていただきました。見たことがない機械があり操縦したいなと思いました。1 つ 1 つの機械が大きくとても驚きました。私もこういう仕事に就きたいなと思いました。いい体験が出来ました。

このような現場見学会を開いて頂きありがとうございました。今回の見学会で学んだことを将来、就職をしたときに生かせるように頑張ります。この度はありがとうございました。

○川口侑晟

10 月 31 日に、4 か所の現場を見学できる機会を設けていただきました。4 か所の現場を実際に目で見て話しをきくのはこれからの進路を決定するうえでいい機会になりました。強く印象に残っているのは、2 つ目の現場でのお話です。

個人的に一番印象に残ったお話は、「建設業働き方改革加速プログラム」です。若者離れが激しい建設業界にとって若者が働きやすい環境を作るものでした。自分自身、建設業によく上げられる 3K、「きつい、危険、汚い」のようなイメージを持っていました。しかし、お話を聞いた後では、新 3K のように、「給与、休憩、希望」の通りの感想が得られました。一部工事では、週休二日制なども取り入れられていて、若い人材でも無理なく働ける環境が整っている快適な環境だと思いました。さらに、以前とは違い最先端の技術によって必要の労働力も削減されていることもわかりました。

実際に話を聞くだけでなく、実際に現場で体験することによって普段では、得られない貴重な体験をすることができました。現場見学する前の自分の中での想像は、未知の世界なのでわからないこともありましたが、この機会を通してとても建設業の理解ができたと感じています。この先進路選択をしていく中でとても貴重な体験になりました。

この現場見学を通して建設業を深く知ることができました。1 日という短い時間でしたが、現場の方々がわかりやすく丁寧に説明してくださりとても濃い 1 日になりました。お話にも合った通り

に若い人材が減っていく中で、建設業界がこのような機会や働きやすい環境を整えていただいて、進路選択の幅が増えました。

このような機会を作っていただき本当にありがとうございました。

○木村 空

僕は10月31日の現場見学会に参加して、たくさんのことを学びました。4つの現場を順に周り見学しました。

まず、1つ目は名田橋の工事現場の見学に行きました。現場では足場が取り付けられていて4分の1ぐらい工事が終わっている状態でした。あんな大きな橋を人の手で直すのはとても大変だと思いました。また、あんな高い所で作業していてすごいと思いました。橋の内部の掃除もしていると聞いていろんな仕事があるのだと思いました。

2つ目は松茂の海岸付近での工事を見学しました。耐震補強工事をしていました。測定の機械を触らせてもらい、耐震補強工事の説明をしてもらいました。将来南海トラフが来ると言われているので耐震補強工事はとても重要だと思いました。また、そんな貴重な話を聞かせてもらって良かったです。

3つ目は津田の大きな橋の工事の見学をしました。現場に着いてからまず目に入ったのがクラムシェルです。大きなバケットで水中を掘っていました。すごい迫力でした。橋の1つの部分を作るのにとても複雑な工事をしていて大変だと思いました。また、人が機械を操作して工事をしていて機械を使っても大変だと思いました。

最後は沖洲の徳島東から阿南からに続く高速道路の工事を見学しました。とても長い距離の工事をしていてとても時間がかかると思いました。僕たちが使っている道路などもこうしてできたのだと思い工事現場の人のすごさを実感しました。

説明を聞いていて授業で学んだ言葉がたくさん出てきて今学んでいることは将来に必要なのだと思いました。この現場見学会でいろいろなことを学びました。とても勉強になりました。このような盛大な見学会を開いてくださりありがとうございました。

○河野拓海

今回の現場見学会では4つの現場をまわりました。

はじめに名田橋の上の柵を取り替えているところに行きました。ここでは現場の説明を受けた後、作業に使われている足場に入ることができ、柵の取り替えの方法を教えてくださいました。貴重な体験ができたし、実際に作業しているところで説明してくれたので、とても分かりやすかったです。

次に、今切川における地震・津波対策事業を行っている作業現場に行きました。ここでは、現場の説明だけではなく ICT 技術による生産性の向上など、変わっていている建設業界の説明を受けて、建設業界に入ってくる人を増やすために建設業界が取り組んでいる事を知れて建設業界のイメージが良くなりました。また、最新の測量機械の説明を受けて授業で使っている楽そうで、一人でも測量ができていたので生産性もあがって楽に測量できるので、とても良いと思いました。

次に新町川の橋を作っている作業現場に行きました。ここでは橋脚を作る作業をしていて、橋脚を作るための足場の規模が大きくて驚きました。授業で習ったクラムシェルが作業しているところをみることができ、とても良い経験ができたと思います。

次に沖洲高架橋を作っている作業現場に行きました。ここでは、沖洲高架橋が含まれる高速道路

の説明を受け、とても長い距離の工事でとても時間のかかることを知り、いつも使っている高速道路もこうして作って現場の人はとても凄いことをしているのだなと思いました。

現場見学会で4つのいろいろな現場をまわって、あらためて土木が人の生活を支えていると思いました。また、どこの現場の人も説明が丁寧で、説明の資料が多くて、私たちの現場見学会のために準備してくれていて、見学に集中することができました。ありがとうございました。

○塩田那瑠

現場見学会に参加してみて凄いなと思うことがたくさんありました。はじめに名田橋に見学に行きました。橋のことについての説明や橋のことにかかるお金の話を聞いて、こんなにもたくさんのお金がかかるのだと驚きました。橋の中に入ってみると、とてもしっかりしていて安心できました。橋の見えないところで職人の技がたくさん見られてとてもすごいと思いました。そこからの眺めもとてもよかったです。

次に海沿いにある現場に行きました。最新の器械を見て感動しました。とくに、2つめに見た機械では、自分が動いたところにその器械が追ってきて立っている場所を測れていたのが感心しました。説明もしっかりしてくれてこの辺の津波のことなどがよくわかりました。

次は、五洋建設さんのところに行きました。ここでは橋やコンクリートのことについて学びました。とても大きな機械が多くて大規模な作業をしているのだなと思いました。機械の中を見てみると、とても引き込まれる感じがしました。やはり、図で見るだけでなく実際に目で見てみると細部などがよくわかりとても良いと思いました。

最後に建設途中の橋を見に行きました。コンクリートブロックの1つ1つが綺麗で職人の技だなと思いました。クレーンに乗って作業する人を見て、バックホーでも難しいのによくこんなに繊細で無駄な動きなくできるなと思いました。

現場見学をしてみて、まだまだ知らないことがたくさんあるのだなと再確認することができました。作業員の方一人一人が安全に気を付けてチェックなどを行っていることもわかりました。

○四宮武蔵

私は10月31日に現場見学会に行きました。今回の現場見学会では、色々な場所を回れるときいていたので楽しみにしていました。

最初に名田橋の見学にいきました実際に橋の下に行って話を聞いて橋の構造を見せていただきました。私は橋の構造などを考えたことがなかったので今回の話を聞いてすこし橋のことがわかりました。私は高いところで作業をしてみたいと思っていたので橋の仕事もよいなと思いました。

次に豊久下流地区耐対策工事の見学にいきました。まず現場をみたときに砂の山に驚きました。あれは何に使うのかなと思いました。まずコンクリートの話を聞いて思ったことは正直話が難しすぎてわからなかったけど後でスマホの方で調べてみたら少しわかりました。もっとコンクリートについて理解を深めていきたいと思いました。また、抗ナビの話を聞いて思ったことは今までは二人で作業をしていたけど、今では一人で作業ができるようになっているので今の技術は素晴らしいと思いました。

次に新町川橋下部工事の見学に行きました。様々な重機があってとても驚きました。とくにクラムシェルを見ることができてよい経験になりました。工事現場の人たちがとてもかっこよく見えました。とてもやさしい人たちがいっぱいいたので良い職場だなと思いました。

最後に沖洲高架橋上部工事の見学に行きました。高速道路を作るのはとても時間がかかるなと思いました。こんな地道な作業はとても大変そうでした。でも完成した時の達成感はずいよいなと思いました。今回の現場見学会でたくさんの良い経験ができました。将来に役立てていきます。

○條 広暉

10月31日に207・208ホームルームで1日かけて、4か所の現場に見学に行かせてもらいました。どの現場も安全なところで見学させてもらい、トイレまで配置してくださり、とても準備されたいい現場を見ることができて貴重な経験ができました。

1か所目の現場は、大久保産業さんの現場に行きました。現場の内容は、名田橋の橋梁修繕工事でした。実際に橋梁を修繕しているところまで登らせてもらい見ることができました。普段、工事の内側まで入ることがないので、いい経験ができました。

2か所目は、徳島河川国道事務所の方、姫路組の方が工事されている松重町豊久に行きました。工事の内容は、豊久下流地区地震対策工事というものでした。ここでは、最近の土木業界の話や、最新の測量機械を見させてもらいました。話は、週休2日制が取り入れられていることや、新3Kの事も聞きました。それを聞いて、若者が土木を志望しやすい環境を整えてくれているのだなと思いました。

3か所目に行く前に徳島建設センターで昼食をいただきました。そこの協会挨拶で台風の被災についてお話をされていました。徳島の土木会社が被災地の復興の応援に行っているというのを聞いて、とても感心しました。

昼食が終わって行ったのは、津田海岸町で工事の内容は、新町川橋下部工事でした。機械など大規模で、初めてクラムシェルを生で見ました。実際に機械が動いているのを見ることが出来て、とても良かったです。

4か所目は、沖洲2丁目に行って、高架橋上部工事を見させてもらいました。科技校の先輩も頑張っていて親近感がわきました。最後にドローンで記念写真を撮ってもらって思い出に残りました。

今回の現場見学会を通して、測量器械がどんどん進化していることや、若者が就きやすい環境になっていることがわかりました。土木についてもっと興味がわいて良かったです。

○住友由記哉

私は10月31日に現場検学会に参加させていただきました。初めて参加したのでとても楽しみにしていました。

1つ目は名田橋の現場に行きました。普段見えないところまで見せていただけたので良かったです。特に橋の補強工事の足場に上がらせてもらい、とても良い体験ができました。2つ目は松茂町の現場に行きました。私たちが知っている測量よりもはるか上の技術で、スマホを使った測量で、私たち若い人でも簡単に測量ができるので、私たちでも使えると感じました。2人でしていた測量が1人でできるので作業効率が上がって、とても便利だと思いました。

3つ目津田の橋の工事の現場に行きました。現場では、名前しか聞いたことのないクラムシェルの機械を見ることができてよかったです。思っていた以上に大きくて、迫力がありません。橋を作成するのにかかる金額は約200億円だと聞いて驚きました。早く津田の橋を渡ってみたいと思いました。

最後に沖洲の高速道路の工事現場に行きました。高速道路の現場は、以前にも行った経験があり

ますが、沖洲の現場には迫力があって驚きました。私は、将来道路関係の仕事に就きたいと思っています。高速道路関係の仕事も仕事の1つなのだと感じました。

私は、今回の現場検学会に参加してみて、土木の仕事のイメージが変わりました。最初は現場の人は怖いイメージが強くて参加するのも少し怖かったです。でも実際は、全く違って、現場の人はとても親切で1つ1つ丁寧に教えてくださり、居心地の良いところでした。土木関係の人は、いい人ばかりだということが知れて、最初以上に土木関係の仕事に就きたいと思いました。今回の体験を進路選択に活かしていきたいです。

○谷 大哉

10月31日に僕たちはいろいろな体験をし、知らなかったことをたくさん知ることができました。

始めは吉野川に架かる橋「名田橋」を見学しました。昭和34年(1959)10月に計画され昭和38年(1963)1月に完成されました。橋を造るのに4年も架かるのは初めて知りました。それに今も橋は架かりつづけ使われているのはすごい事だと思いました。また、名田橋は国内2番目に長い橋で800メートルもあることも知りました。橋を造るのに何年もかかり何年も使い続けられるような橋に維持することは大変だと思いました。

次に地震対策工事を見学に行きました。話を聞いていてもわからないことがたくさんあったけど僕たちの住む地域を守ってくれていると思いました。あと、学校にはない機械で測量をしました。1人で早く簡単にできました。

昼ごはんはお弁当を食べました。とても美味しかったです。ありがとうございました。

次は高速道路の工事を見学しました。水中に支柱を建てるため穴をあけるクラムシェルを使っていました。初めてクラムシエルの作業を見ることができました。とても深い所まで掘っているのがわかりました。迫力がすごかったです。

次は高速道路の下まで行きました。こんなん運べるのかとおもうぐらいの大きさの鉄骨の構造物が何個もありました。また、道路を造るのにあたって様々な工法や作り方があることを知りました。すべて同じ造りと思っていたのでびっくりしました。何人もの人が自分たちよりも何倍も大きい物を作るのはとてもすごいなと思いました。

自分は消防士になろうと思っていたけど、今回の体験で少し興味が湧きました。このたびは本当にありがとうございました。

○中本翔太

私は10月31日に現場体験会に参加させていただきました。先日、土木コースの生徒は二級土木施工の試験を受けてきました。その問題の中で知っているけどまだ実際に見たことのない工法や機械などが見られると思い、早く行きたいなと思っていました。

はじめに名田橋の下に降りて、名田橋の歴史や今やっていることなどを知ることができました。名田橋の立ち方を現場の人たちが資料を用いて説明してくれました。最後のほうで質問をした後に、現場の人たちのはからいで橋の内部を見ることが可能になりました。一番驚いたのが、鳥の糞の処理に1億円もかかっていることでした。

次に松茂も堤防を見ました。ここでは地震や津波で起こりうることへの対策として、今できうることを詳しく教えてくれました。あと、生産性革命に取り組むことへの三つの切り口を用いて丁寧にわかりやすく私たちに教えてくれました。

昼食ではこの現場見学会の主催者が弁当を支給してくださって、そのあとに土木事業の必要性や災害時の助け合いの話が聞けて良かったです。

最後に、津田と沖洲の現場に行きました。まず津田では高速道路を作るための工事をしていました。そして知っているけどまだ見たことがなかったクラムシェルなど、知らなかった機械や動き方がわからなかった機械がたくさんあり、実際に見ることができて感激しました。

沖洲のほうではボーリングをしているところや、大体の橋の造りを見て回ることができました。とても大きな構造物が多かったので雰囲気は圧倒されました。

この度はこのような機会を作ってください誠にありがとうございました。この体験を今後の人生に活かしていきたいなと思いました。

○濱崎歩夢

現場見学会に行くとき聞きとても楽しみにしていました。僕が普段よく通る名田橋の見学では、いつも何をしているのかと気になりながら通っていたのですごく興味がありました。前から橋の工事をしていたのを知っていたので、橋の工事にはとても長い時間がかかっているのだなと思いました。夜に名田橋を通るとき、LED がついたことによって、より安心して渡ることができています。また、足場の上に上がらせてもらうという貴重な体験もでき、現場の雰囲気を肌で感じることもできました。

2つ目の場所で聞いた、地震・津波対策では僕はあまり地震や津波に対する対策はできていません。家で話し合いなどもあまりできていないですが、姫野組の皆さんや、建設業の方々、さまざまな対策をしっかりとしていると聞きすごいなと思いました。土木の仕事はいろいろと変わってきていると聞き、土木への関心がさらに深まりました。

3つ目の現場では、実際に機械が作業しているのを見ることができました。自分が見たことがあるのはバックホーやロードローラーの小さい機械しか動いているのを見たことが無かったので、クラムシェルのような大きな機械を近くで見ることができ良かったです。

4つ目の現場では、高速道路を作っていました。組み立て方で、最近習った車両の長さ上限などの話が出たとき、このことかと自分の知識でもわかることがありうれしかったです。最後の「ドローン」が飛んだ時最新技術も取り入れているのだなと思いきよかったです。

今回の現場見学会では、本でしか見たことしか見たことなかった物なども、近くで見ることができ、勉強していたことへの理解が深まりました。今回は本当にありがとうございました。

○原 圭佑

今回の現場見学会で、初めに名田橋の工事の見学に行きました。よく通る名田橋ですがあのような工事をしていることは、今回の現場見学会で知りました。名田橋の橋梁修繕工事の為に取り付けられた足場に入らせて頂きました。普段では入れない場所から工事を見ることができて、とても貴重な体験になりました。

次に豊久下流地区耐震対策工事の見学をさせて頂きました。工事を見ていて、私自身は南海トラフ地震に備えて、何の準備もしていませんが、建設業協会の皆さんは地震が起こった時に、被害を最小限に抑えるために働いている皆さんが、とてもかっこよく見えました。

次に、新町川橋下部工事の見学に行かせて頂きました。今までに見たこともないような大きな機械があって、とても興奮しました。水面の高さが数メートルも変わっている大きな穴を見たとき

にはすごく驚きました。クラムシェルが水面の下からとても大きなバケツで土を持ち上げてくる作業は今でも鮮明に覚えています。あの工事の中には様々な技術が駆使されているのだなと感じました。

最後に沖洲高架橋上部工事の見学に行かせて頂きました。土木施工で習っていた車両の長さの上限のものしか運んでこれないので、それらをつなげて組み立てていると聞いて驚きました。

ドローンが飛ばされた時には最先端の技術を感じました。

今回の現場見学会を通して、今までは将来建設業に就こうとは思っていなかったのですが、あまり興味を持っていなかったのですが、人々の暮らしを影から支えている仕事だと知って、興味を持つことができました。今回は本当にありがとうございました。

○藤川稜平

今回の現場見学会では4件の現場を見学しました。

1件目は名田橋の高欄交換作業の見学をしました。名田橋は1960年頃に開通、約60年の間支えてきた橋です。

古い内部ケーブルに錆びが見受けられたので、新しいケーブルを外側に取り付け、橋を安定させた状態で高欄の交換に進むという話をさせていただきました。また、名田橋は古く、内部構造の設計図がないそうです。その中安全を確保しつつ正確な作業を行っていることに驚きました。

2件目は護岸工事の見学をしました。内容は大きく分けて高水時の護岸工事と地震時の液状化対策の2種類でした。

ここで、サンドコンパクションパイル工法と深層混合処理工法について触れながら説明をしていただきました。サンドコンパクションパイル工法は、隙を無くした筒状の土を地中に埋めて固定するというものでした。深層混合処理工法は深い位置で先端から薬液を噴出し、薬液を土の間に浸透させて固定するというものでした。コストパフォーマンスではサンドコンパクションパイル工法の方がよいそうです。

3件目は新町川を横断する橋の内、津田川の橋を作る現場を見学しました。ここでは橋脚の建設に着目しました。見学内容は、外壁管鋼矢板を切りばりと腹起しで固定し中の土砂をクラムシェルで取り除くというものでした。

クラムシェルの機体が想像以上に大きく、迫力が物凄かったです。また、橋脚の基礎部分で少しでも誤差があるだけで、橋を架ける時に大きなずれができると聞いたとき、凄く作業の緻密さが伺えました。

4件目は沖洲側の橋の見学をしました。杭打ち機や場所打ち杭等の具体的な解説をしていただきました。

1件目の名田橋と新町川橋では橋の種類が違うことも分かりました。名田橋は橋脚同士が繋がって支えているラーメン橋に対し、新町川橋は橋脚同士が離れている桁橋でした。

今回の現場見学会では僕のうやむやだったことが鮮明になることが多かったです。座学で学んでもうまく実感できなかったのもあり、本物の現場を見て思っていたスケールと全く違っていたのでとても驚きました。これからは座学だけでなく現場の画像や映像等を基に学んでいきたいなと思いました。また、今回の現場見学会に携わってくださった方々やおもてなしをしてくださった方々、誠にありがとうございました。

○松田充騎

今回私は4つの現場を見学しました。そこで学んだ事や初めて知った事をまとめます。

1つ目は不動北町と板野郡藍住町を結んでいる名田橋を見に行きました。とても長い橋で、橋長800mと聞いたときはびっくりしました。工事中だったと言う事で足場を登らせていただきました。一番上から見た景色は絶景でした。工事部分は何やら複雑な造りで構造が全く分かりませんでした。これも一つの仕事だと理解できました。

2つ目は地震と津波の対策事業を見に行きました。ここでは授業で習ったものの、あまり理解ができなかったサンドコンパクションパイル工法について詳しく説明されていたので、非常に分かりやすく理解でき勉強になりました。そして、最近の測量機械はスマホで自動追尾ができると言う事で実際に体験しましたが、扱い方が簡単で、これなら自分でも楽しく操作できるなと思いました。

3つ目は津田と沖洲を結ぶ高速道路の津田 IC の方に行きました。ここでは人生初のクラムシェルを見ることができました。凄い迫力で、海底から泥を地表に持ち上げる姿を見たときは感動しました。しかし自分では無理な程に操作は難しそうでした。あと、橋下部工事で切梁や腹起しが使われているのは初めて知りましたし、海面に直接施工するのだなと思いました。

4つ目は沖洲の東徳島 IC の方に行きました。ボーリングをしている所や、大体の橋の造りを見て回りました。自分もいずれはこんな風に仕事をすると、材料を見るだけでめまいがしそうです。最後のドローンでの撮影はかっこよすぎて自分でも操作したくなる程でした。

最後になりますが、今回はこのような機会を作ってください本当にありがとうございました。この体験を活かして自分の将来の進路に役立てていきたいと思います。

○宮原崇叶

私は10月11日に現場見学会に参加させていただきました。様々な現場に行き、見聞を広めました。そこでは、知識としては知っていても、実際には見たことのない工法や、機械などがあり、自分が将来携わる仕事についてたくさん学ぶことができましたと思います。

まず、私たちは名田橋に行きました。そこでは、私たちの知らないことをたくさん教えていただきました。その時にもらった資料を読んだら、橋の構造や歴史について知れました。そして実際に、階段を上って橋の内部を見せていただきました。とても高く、恐怖を感じましたが、それ以上に学ぶべきものがたくさんあったので、とても楽しかったです。

次に私たちは松茂の堤防を見に行きました。そこでは、地震が発生した際の津波の被害や、堤防の液状化現象のことなどのことを学びました。今や私たちには自信は身近なものなので、津波の浸水想定について学べるのはとても幸運だと私は思いました。

昼食では、現場見学会の主催者の方が弁当を支給してくれました。そこで、「未来の建設従事者のためにこの現場見学会を催した」とおっしゃっていたので、期待に応えなくてはと私は思いました。

最後に津田と沖洲の現場に行きました。そこでは高速道路を作っていて、たくさん学べることができました。私の希望の就職先はNEXC Oなので、道路関係の現場は、とても参考になりました。津田では津田 IC (仮称) 付近、沖洲では東徳島 IC (仮称) 付近まで行きました。津田ではクラムシェルなどの機械、沖洲では建設途中の高速道路を見学し、工事の内容などのことを現場の方から教えていただきました。正直わからないことばかりでしたが、とても貴重な体験でした。

この現場見学会は私にとってとても有意義な時間でした。今まで知りえなかったことを間近で見

て、たくさんのことを学びました。このことを私の将来の仕事に役立てていきたいです。

○森景陽大

今回の現場見学会で4つの現場を生で見せていただき、どの現場も魅力的な現場でした。特に2つの現場がとても印象に残りました。

1つ目は、大久保産業さんの名田橋の橋梁修繕工事です。自分は前からこの橋の工事を知っていて何をしているのかなと思いながら工事現場の様子を見せてもらいました。橋の裏や側面を目の前で見学できるという高校生にはあまりない経験をさせていただき、鉄筋だけが裸になっている箇所がありました。作業員の方に説明を聞くと、両端合わせて鉄筋が8本あって2~3本切断すると橋が傾くと聞いて、鉄筋8本で橋のバランスをとっているのはすごいと思いました。

2つ目は、津田で作業している五洋建設さんの新町川橋下部の工事現場です。その現場では海上に1から橋の柱を建てるという工事です。自分の中でどうやって海中に柱を建てているのかと疑問に思っていたことその時見ることができました。現場を見る前までは、シンプルに既製の柱を地面に挿して固めていくというイメージだったけど、実際に現場を見てみると思っていた以上に工事の過程が多く、1つ1つの工事内容も複雑で特にクラムシェルで泥を取り除き切ばりなどで橋の柱に型枠をとる作業は感動しました。

4つの作業現場を見させていただいて一番に思ったのは、どの現場も安全設備が完璧で、また、作業員さんも丁寧に作業内容や機器の説明をしてくださって、作業の内容なども理解することができました。また、自分の進路の選択肢や社会人になって人と接する時の態度やマナーをこの現場を通して勉強になりました。

この度は現場見学会を開いてくださってありがとうございました。現場では事故などに気を付けて頑張ってください。

○石川純花

私は10月31日に4つの企業を見学して、たくさんのことを学ぶことができました。

1つ目に行った、大久保建設では名田橋の橋梁修繕工事を間近で見ることができました。橋を真下から見たのも、橋の中の足場を歩いたのも、道路を真横から見たのも、初めての体験が多くとても楽しかったです。とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

2つ目に行った、姫野組は前々からとても気になっていた企業でした。だから、実際に見学できると知ったときとても嬉しく楽しみでした。豊久下流地区耐震対策工事を見学しました。難しかったのですが、とてもやりがいの持てる仕事だと感じました。また、測量機械を体験して、左右で緑と赤とで色が変わったのは驚きました。とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

3つ目に行った、五洋建設では実際にクラムシェルを見ることができました。施工の授業でクラムシェルについてたくさん学んでいたのが実際に見たら、大きくてとても迫力がありました。クラムシェルなど大きな機械を人が操ることができる技術は本当にすごいと思いました。まず、あの場所にクラムシェルをどうやって動かしてきたのか、とても気になりました。改めて、土木ってすごいなと感じました。とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

4つ目に行った、高田機工では沖洲高架橋上部工事を見学しました。私たちがこれから通るかもしれない高速道路を作ってくれていました。高速道路を作る現場は、昨年も体験をしに行ったのですが、ゆっくりと下から見たのは初めてでした。細かいところまでじっくりと見ることができ、い

い経験になりました。最後に土木と建築と現場の方とでドローンで写真を撮ったのは、すごくいい記念になりました。ドローンで写真を撮ったのは初めだったので、きれいに写るのかなと思っていたのですが、とてもきれいだったので驚きました。ありがとうございました。

最後に、今回、見学をさせてもらった4企業の方々にはたくさんの知識を教えてくださいました。私にとってとてもいい経験になりました。本当にありがとうございました。

○木藤未久

今回は、このような素晴らしい現場見学会を開いていただきありがとうございました。

まず、名田橋で工事に作られた足場が上がらせていただきました。実際本当の工事中の現場の中に入るのは初めてで、普段見ることのできないところを見せていただきとても良い体験になりました。名田橋についての資料もいただき読んでいて橋の構造や様々なことも知ることができました。

そのあと、海辺に移動した際に性能の良いレベルを見て感動しました。1人でも測量ができて、レベルからの光が見ている位置によって赤や緑だったりするところが凄かったです。

お昼のお弁当は、高校生の好きそうなものばかりで凄くおいしかったです。

午後からは、津田にある現場に行き基礎工事の切ばりや腹起しなど授業でよく聞いていたものをこれも初めてみました。あと、クラムシェルも初めて見たのですが、想像よりもはるかに大きくてびっくりしました。今回の現場見学の中で一番迫力がありました。その現場にいた女性が働きやすいと言っていたので女性の私でも活躍できたらいいなと思いました。

最後は、高速道路の作っている現場に行っているいろいろなことについてやさしく丁寧に詳しく教えてくださいました。ドローンを使って写真を撮影するのに操作するのが難しそうでしたが、現場の方の操作は凄く安定していました。

私は、将来土木の会社に就職するか悩んでいるのですがこうやって実際に現場に立ち入って、作業している人たちの姿や話を聞いて思っているよりも、きつくなさそうに思えました。

土木の仕事は、日本にいる人が安全に生活できるように支えたり、暮らしが便利になるように新しく橋や道路を作ったりで、凄く人のためのいい仕事だと深く感じました。私も、人の役に立てることのできる仕事がしたいです。

○小林真心

10月31日、現場見学会を開いてくださりありがとうございました。すべて良い思い出と良い経験をすることができました。

私たちはまず、橋について色々なことを知りました。名田橋の歴史や、橋がどのようにして作られているのか、などの話を聞かせてもらいました。橋がどのようにできているのかは、聞いているだけでも難しく、土木の方々には本当にすごいなと改めて実感しました。そして、一番心に残っているのは橋の足場に上らせてもらったことです。高くて、ちょっと怖かったけど良い経験をさせてもらいありがとうございました。

2番目は、姫野組に行きコンクリートと測量について教えてくださいました。測量は、授業ではいつも3人組で測量実習をしているけど、新しい測量機械では1人で測量ができると聞いて、びっくりしました。クラムシェルも見ることができました。授業でよく聞くクラムシェルを初めて見て、自分が思っているのよりもはるかに迫力があり、とても印象に残っています。他にもよく授業で聞く言葉ができていたのでしっかり覚えておきたいです。そして、「希望が持てる、給料が高い、休

暇がとれる」の新しい3Kをしっかりと覚えておきたいです。

最後に、高速道路についての話を聞きました。高速道路は、とても規模が大きく工事をするのが大変そうだなと思いました。そして、最後にドローンで撮ったクラス全員の集合写真は、一生の思い出です。

すべての現場見学会を通して、改めて土木に関する方々はすごいと思いました。そして、前よりも土木に対して関心や、興味を持つことができました。まだ、将来なにになりたいか、はっきり決まっていないので、この現場見学会で教えてもらったことを参考に決めていきたいです。ありがとうございました。

○四宮ひなた

このたびは、現場見学会を開いてくださりありがとうございました。名田橋の足場にのぼらせていただき、四国横断自動車道の津田 IC から徳島東 IC の現場を見ることもでき、とても貴重な体験ができました。

名田橋では、高欄の中に LED の照明灯を内蔵していると、従来の街灯に比べ、ポールがないので昼間の景観もいいなと思いました。例として、しらさぎ大橋の高欄灯は昼間も夜も見栄えがきれいですし、名田橋は普段通ることは少ないのですが、いつか通ってみたいと思いました。

地震・津波対策のために堤防を強化しているというお話はとても身近に感じることができ、土木のお仕事はその場に住む人たちの暮らしを災害から守ったり、少しでも被害を少なくできるようにしたり、安全安心の便利で豊かな現代社会を作るのに必要不可欠で素敵だなと改めて思いました。

たくさん見せていただいた中でもクラムシェルは特におどろきで、授業で勉強しても実際目にかけることがなかなかなく、はじめて見て、思っていた以上に大きくてすごいなと思いました。

最後に沖洲で行われている四国横断自動車道の津田 IC から徳島東 IC の工事の見学に行きました。いろいろな機械が使われていて授業で習ったものや初めて見るものがあって、たくさんの発見があっておもしろかったです。最近よく使われているドローンを操縦しているところも見ることができました。そのドローンで写真撮影もしてもらいました。従来の3Kの「きつい、危険、汚い」とは違い、今は新3K「給与が高い、休暇がとれる、希望がある」になっていてとても働きやすい環境になっていて、これからこのような仕事に就く人が増えればいいなと思いました。

私も今回の現場見学を進路決定の参考にしたいと思います。本当にありがとうございました。

○鈴木あいな

私は今回の現場見学会に参加させていただいて、土木業界に対する興味、関心がさらに高まりました。最初に見学させていただいた名田橋では長い歴史があることを知り、その歴史の裏側にはたくさんの工夫が施されているということを知りました。その工夫があったからこそ、何十年も経った今でも、私たちに受け継がれているということに気づき、感動しました。

2つ目に見学させていただいた豊久下流区耐震対策工事の現場では、よく耳にするもののあまり理解できていなかった「液状化」についてどのように影響を与え、どのように被害を及ぼすのか、理解を深めることができました。ダムを作るのに液状化対策をするなど、私が思っていた以上に耐震対策工事は奥が深く、私たちの安全を考えてくださっているのだと気づくことができました。

1時間ほど見学をさせていただいていましたが、足が少し疲れ、暑く感じました。たった1時間でしたがそう感じたので、現場で作業されている方々は毎日、一日中作業をされているので本当に

凄いと思いました。

3つ目と4つ目に見学させていただいた新町川下部工事の現場では、クラムシェルを初めて見ることができ、その迫力に驚きました。二級土木施工管理技士の資格試験の勉強で、クラムシェルは狭い場所での掘削に適していると学んだので、小さな機械を想像していました。でも実際に見てみると、とても大きく、とても深いところでまで掘削していて驚きました。

今回の見学会を通して、私たちが普段、何気なく使っている公道や橋はたくさんの方々の力で支えられ、保たれているのだとわかりました。土木業界の仕事は決して楽な仕事ではないと思いますが、自分が関わった道路や橋、ダムなどを、たくさんの人が利用し、たくさんの方の役に立っていることにやりがいを感じるのではないかと思います。

私の進路はまだはっきりと決まっていますが、土木業界の魅力などの再発見をたくさんすることができ、とても良い経験になったと感じています。この度は本当にありがとうございました。

○松添夏海

10月31日私たち環境土木コースと建築コースの2クラスで、現場見学会に参加させていただきました。

まず初めに、名田橋に見学に行きました。普段何気なく利用している橋ですが、下から見てみたり、橋の中に入り中の構造を見たりと、とても貴重な体験をさせてもらいました。私たちは教科書や動画でしか橋の構造や造りを見たことがなかったのですが、実際に目で見て、肌で実感することにより、もっとわかりやすく学ぶことができました。

次に私たちが向かったのは、豊久下流地区耐震対策工事の現場でした。ここでは、今後の南海トラフ巨大地震に備えて地盤改良を行っていました。1つでも多くの命が救えるようにと、現場の人たちの努力がとても伝わってきました。私たちの身近でも起こりうる事についての重要な話が聞けてとても勉強になりました。そしてここでは、測量の機械も実際に触らせてもらって、授業では使わないような機械ばかりだったので、とても良い経験になりました。

3つ目に、新町川橋下部工事の現場見学に行きました。ここでは、施工の授業で習ったような鋼管矢板根固め工事や、ディープウェル工事を実際に目で見ることができました。近くで見ると、とても迫力があり、心拍数が上がりました。教科書などの図でみるよりも実際目で見て学ぶことでよいわかりやすく学習できると思いました。

最後に見学したのは、沖洲高架上下部工事でした。ここでは、コンクリートを使って高速道路を作っていました。何気なく利用していた高速道路も、土台となる基礎がしっかりと作られていて私たちの安全のためなのだととても感動しました。

今日の現場見学では4つの現場を見学しました。この見学で私の将来の選択肢がとても広がりました。この今日の経験を生かしてこれからの進路選択に生かしていきたいと思います。今日は本当に貴重な体験ありがとうございました。

○真鍋笑莉

私は、高校2年生になって初めて現場見学会に参加しました。4つの現場を回ることができ、とても勉強になる充実した1日を過ごすことができました。

1つ目に行った現場は、名田橋です。いつもよく見ている橋だったので、とても興味がありました。名田橋は、工事中で橋の手すりの部分にLEDライトを入れているところでした。半分は仕上

がっていたので橋と比べると、全然違ってびっくりしました。とても綺麗になっていました。また、工事中の足場の上に上らせて頂き普段は見えない景色を見ることができました。初めての経験でとても嬉しかったです。

2つ目に行った現場では、堤防の造りのお話を聴いたり、最新の測量機械を体験したりしました。現場の方のお話を聴いていると現在、これから発生すると予想されている大きな自然災害に備えて、急ピッチで堤防を作っているとおっしゃっていました。私たち住民が暮らしやすいように、たくさん支えられているのだと感じました。新しい測量機械は、1人でも測量ができるというものでした。普段、私たちが実習の時にしている測量は、3人がかりでしているので1人でしている測量を見てとても衝撃を受けました。現在、建設業界は人手不足が心配されているとおっしゃっていたので、これからもっと沢山普及してほしいなと思いました。

3つ目に行った現場では、大きなクラムシェルで作業している様子を見学することができました。初めて見た重機だったので、とても感動しました。

4つ目に行った現場は沖洲高架橋上部工事をしている現場でした。その現場は、これから通る高速道路を建設中でした。あれだけ規模の大きな工事を見たのは初めてでとても興奮しました。最後にドローンを使ってみんなで記念撮影をしました。とてもいい思い出になりました。

それぞれの現場でとても良い時間を過ごすことができました。現在の建設業界は、女性の方が沢山活躍しているということもわかりました。これからの進路選択のためにとても役に立つ、充実した1日を過ごすことができました。本日は、本当にありがとうございました。

○森本美玖

この度は現場見学会を開いてくださりありがとうございました。1日に4つの現場を見学することができ、とても貴重な体験ができたと思います。

まず、初めに見学させていただいた大久保産業様の名田橋の橋梁修繕工事では、高欄の中にLEDの照明灯を内蔵するという工事をされていました。高欄の中にLEDの照明灯が内蔵されていると夜間でも明るく、道が見やすくなるので事故も起こりにくくなるだろうと思いました。

2つ目の現場は、姫野組様の豊久下流地区の耐震対策工事の現場でした。この現場では、地震によって発生する地盤の液状化で堤防が沈下するのを防ぐために地盤改良を行っていました。主な対策工法はサンドコンパクションパイル工法と深層混合処理工法と聞いたときは授業で習っていたのでイメージしやすかったです。

3つ目の現場は、五洋建設様の新町川橋下部工事の現場でした。私たちが見学に行ったときは井筒内掘削の施工をしている最中でした。橋の工事を間近で見させていただけることなんて滅多にないのでとても良い経験になりました。

最後の現場は、高田機工様の沖洲高架橋上部工事の現場でした。現場が海岸線から約20mの場所なため、塩分を含む風や雨が柱などに侵入し鉄筋が腐食してしまう可能性があります。それを防ぐために塩害対策としてエポキシ樹脂塗装鉄筋や最小かぶり増厚で施工しているとのこと。現場には一般の人でも自由に入り、見学・トイレ休憩ができるよう休憩所が設置されています。休憩所の中には、事業の説明パネルや模型を設置しているみたいです。

今回現場見学会に参加させていただいて、建設業界に対するイメージが少し変わりました。今の建設業界では、3K「きつい、危険、きたない」から新3K「給与が高い、休暇がとれる、希望が持

てる」に変えることができるよう作業環境の改善がされています。週休 2 日制が取り入れられるなど、若い人でも働きやすい環境になっていると思います。この現場見学会で学んだことを今後の進路選択に活かせるよう努力していきたいです。